平成 28 年度 (2016 年度)

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

刑 法

C日程入試

(注意)

- 1. 問題冊子(表紙を含む)は2枚です。
- 2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
- 3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
- 4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

平成28年度(2016年度)金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	刑	法	
------	---	---	--

問題 判例の立場を説明した上で、以下の設例におけるXの罪責を論じなさい (道路交通法をはじめとする特別法違反の点を除く)。

Xは、指定最高速度毎時40キロメートルの道路を毎時105キロメートルの超高速で疾走した上、それを現認して検挙しようとした取締り警察官らの停止指示を無視して逃走した。

後日Xは、前記違反に対する自己の刑責を免れようと企て、部下のAに対し、 Xの身代わり犯人としてB警察署に出頭するよう依頼し、AをしてB警察署の 警察官Cに対し、前記違反の犯人がAである旨虚偽の申告をさせた。